

琵琶湖文化館機能継承検討懇話会の検討状況について

1 琵琶湖文化館機能継承検討懇話会の開催状況

- 第1回 7月5日 ・琵琶湖文化館機能継承の方向性について
 第2回 8月23日 ・琵琶湖文化館の後継施設(以下「後継施設」)の位置付けについて
 ・琵琶湖文化館の後継施設に必要な条件について

2 第2回懇話会までの議論の内容

後継施設と近代美術館との関係	<p>○後継施設には、滋賀県の文化財を将来にわたり保存・継承するための十分な施設・設備・人材が必要。そのため、近代美術館の拡張ではなく、<u>独立性の高い施設、専門性の高い組織が必要。</u></p> <p>○滋賀の<u>3つの美の発信のため、近代美術館との連携が必要。</u></p>
文化財の保存の重要性	<p>○過疎化等により地域や社寺自らの手で文化財を守ることがますます困難に。後継施設には、文化財の保存・継承の観点により重要。</p> <p>○現在の琵琶湖文化館の収蔵品を適切に収蔵できるとともに、将来の寄託ニーズの増にも対応できる十分なスペースの収蔵庫が必要。</p>
人材の確保・育成	<p>○文化財の適切な保存、継承、活用および調査・研究にかかる専門的な知識や技術、経験を備えた学芸員の確保・育成が重要。</p>
施設の機能・規模	<p>○常設・企画展示室、十分な広さの収蔵庫、その他必要機能を備えた総合的な歴史系博物館</p> <p>○常設展示室、十分な広さの収蔵庫を備えつつ、必要機能を絞り込んだ施設</p>
整備スケジュール	<p>○琵琶湖文化館の老朽化の現状や文化財を見る機会の逸失等の観点から、一刻も早い後継施設の整備が必要。</p>

3 今後の検討スケジュール(予定)

- 令和元年 10月7日 第3回懇話会 琵琶湖文化館後継施設の整備内容について
 11月下旬 第4回懇話会 琵琶湖文化館後継施設の立地について
 12月予定 第5回懇話会 琵琶湖文化館の機能継承方針(案)について
 12月～1月 常任委員会(機能継承方針(原案))
 県民・関係者への意見照会
 令和2年 2月～3月 常任委員会(機能継承方針(最終案))

(参考) 琵琶湖文化館機能継承検討懇話会委員

氏名	役職等	備考・経歴等
伊熊 泰子 イマベ ヤス子	(株)新潮社「芸術新潮」編集部	・滋賀県文化審議会委員
石丸 正運 イシマル ショウウン	美術史家・名都美術館館長	・元近代美術館館長 ・元琵琶湖文化館館長 ・滋賀県立近代美術館機能・発信力強化検討委員会委員 ・近江の仏教美術等魅力発信検討委員会委員 ・新生美術館基本計画検討委員会委員 ・新生美術館基本計画検討懇話会委員
岡田 修二 オカダ シウジ	成安造形大学学長	・新生美術館整備推進専門家会議委員
佐藤 祐子 サトウ ユウコ	(株)国華荘代表取締役社長	・みんなで創る美術館円卓会議委員
高梨 純次 タカナリ ジュンジ	公益財団法人秀明文化財団参事 (MIHO MUSEUM 研究・展示担当)	・元琵琶湖文化館学芸員 ・元近代美術館学芸課長 ・新生美術館基本計画検討委員会専門部会委員
根立 研介 ネグチ ケンケイ	京都大学大学院文学研究科 京都大学文学部 教授	・近江の仏教美術等魅力発信検討委員会委員 ・県文化財保護審議会委員
福家 俊彦 フクヤマ トシヒコ	園城寺(三井寺)執事長	・滋賀県文化財保護連盟役員
藤田 励夫 フジタ レイオ	文化庁文化財第一課主任文化財 調査官(書跡・典籍、古文書)	・元県文化財保護課職員